

宣教支援センターだより  
2021年7月号

6月30日(水)約1年ぶりに下関教会の祈祷会に出席することができました。県境を越える移動が制限されてきた中で、元気に再会できたことを喜びました。

共にみ言葉に聴き、共にお祈りすることのできる恵みを、主に感謝します。

■教会を新たにするために

その4 み言葉による一致

20世紀を代表する、ドイツの神学者カール・バルトは『ローマ書』の中で、次のような言葉を遺しています。

「神の真実が、人間の信仰に出会うところに、かれの義が現われる」。

「神の真実」とは、十字架に至るまで逃れることなく神に従ったイエス・キリストご自身の信仰を示す言葉です。

私の西南神学部の恩師である天野有先生は「神の信実」と訳しておられました。

「人間の信仰」とは、神様がイエスに示された十字架を、私が担うべき十字架として信じて受け入れることです。

たとえ信仰者といえども、苦難はありますし、祈れない日だってあります。それでも、私たちは忍耐して、神様が導いてくださる場所に踏み留まるのです。

「かれの義」とは、「神の国」と置き換えてもよいでしょう。

すなわち私たちを召してくださる神は、私たちの不完全さを承知の上で、神様がお立てになられた教会に留まり続けることを求めておられるのです。

勉学のため、勤務のため、教会を離れて遣わされている兄弟姉妹のことを、私たちは祈りに憶えます。それはいつでも彼らが帰ることのできるホームがここに備えられていることを意味しています。

み言葉によって一つとされている群れは、共に生きる群れなのです。

■8月1日(日)は信徒会

今度の信徒会では、教会の自己診断スケールの結果報告、そして向こう25年間のシオン山教会の現在会員数の推移を予測した統計資料を共有します。

教会のいまを見つめた上で、どこに希望を置いて歩むのかを、と一緒に確かめたいと考えています。ご参加ください。

■今月の予定

3日(土)伝道委員会陪席(南小倉)

4日(日)シオン山教会礼拝出席  
協力伝道ミーティング

6日(火)保育園子ども礼拝奉仕

11日(日)若松教会礼拝出席

12日(月)連合女性会総会陪席

14日(水)センター運営委員会

17日(土)シオン山・執事会陪席

18日(日)小倉教会礼拝出席

20日(火)遠賀川流域牧師会陪席  
(北九州教会)

25日(日)シオン山教会礼拝出席

27日(火)センター調整会議

■編集後記

臼杵教会では牧師館脇に小屋を建ててヤギを飼っています。幼稚園に通う永松牧師のお子さんが格好の遊び相手だそうです。早く会いたいです。(齊藤弘司)